

## 2026(令和8)年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。  
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2026/2/20 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
1	前期	生命倫理学 角田 ますみ (スマタスミ) 保健学部 准教授	<p>「自分はどんな人生を送りたいか」、その前提となる「自分の価値観」とは何かについて考えてもらいながら、将来の自分の人生、あるいは対人援助において、倫理的な問題やジレンマに正しく対処できるように、生命倫理の主な基礎知識を修得し、人生の様々な場面における倫理的問題について考えることができるようになることを目的とする。自分自身の資質や価値観を見いだす時に参考になる枠組みやツールについて教授し、倫理的問題やジレンマに遭遇した時の対処能力を養う。</p> <p style="color: red;">【注意】資料配布はユニバもしくはTeams等でデータを配信します。                  【テキスト】『さあ、才能(じぶん)に目覚めよう 新版ストレングス・ファインダー2.0』ジム・クリフトン ギャラップ著、古谷 博子訳 日経BP日本経済新聞出版社 ISBN-13 : 978-4296118304                  ※授業中に使用しますので必ず購入してください。                  ※中古品不可、新品でアクセスコード未使用のものを入手してください。</p>	4/7 ~ 7/21 毎週火曜日・4限 14:40~16:10
2	前期	政治心理学 木暮 健太郎 (コクレ ケンタロウ) 総合政策学部 教授	<p>政治心理学の基礎を学ぶ講義である。政治心理学で扱われる多くの内容は、基礎心理学の一分野である社会心理学をベースとしている。そこで、主として社会心理学の基礎的な内容について理解しながら、政治心理学の必要性を学んでいく。また授業では適宜、アクティブラーニングの手法を取り入れる。                  社会心理学をベースとする政治心理学について理解することが目標である。</p> <p>また、社会や集団の中での心理と行動の関係、政治と心理の相関性について体系的に学ぶことで、実社会において物事を俯瞰的に洞察する力と、信頼されるリーダーシップを発揮できる人材が育成されることを期待する。</p> <p style="color: red;">【テキスト】特に指定しない</p>	4/10 ~ 7/17 毎週金曜日・2限 10:40~12:10
3	前期	観光まちづくり論 古本 泰之 (フルモト ヤスユキ) 外国語学部 教授	<p>世界各地域において、自地域を訪れる観光客を獲得するために観光開発の取り組みが積極的に行われている。このような取り組みは主に経済効果を重視して進められることが多いが、外国人観光客の増加が著しい日本では、オーバートゥリズムのような観光がもたらす負の影響も踏まえ、観光を道具として捉えて住民重視のまちづくりを進めようとする「観光まちづくり」という概念が重視されている。</p> <p>そこで本講義では日本を事例として「観光まちづくり」が誕生してきた背景を確認し、「観光まちづくり」とは何かを学ぶ。また「観光まちづくり」の事例を把握することによって実態をつかみ、あわせて「観光まちづくり」推進における課題を整理する。その上で、世界に視野を広げて、適切な観光開発の在り方とは何かという点について考えていく。</p> <p style="color: red;">【テキスト】特になし(講義内にて資料を配付)</p>	4/7 ~ 7/21 毎週火曜日・5限 16:20~17:50
4	前期	観光資源論 I (文化・自然遺産) 古本 泰之 (フルモト ヤスユキ) 外国語学部 教授	<p>現在、世界遺産は観光地を有名にする上で重要な影響力をもっている。そこで、観光客のある地域に引きつける魅力となる「観光資源」について、世界遺産委員会が選定する「世界遺産」の観点から学んでいく。</p> <p>また、世界遺産はその国や地域の歴史や文化、宗教などと深く結びついており、観光のみならず世界政治や平和問題とも関連していることから、世界遺産を学ぶことは国際社会で活躍するための知識・知見を磨くことにもなる。</p> <p>そこでこの授業では、歴史・文化・宗教に関する知識を踏まえて、代表的な世界遺産を体系的に学習していく。さらに、観光資源としての世界遺産の現状や課題を理解し、今後の観光のあり方を考える力を養う。</p> <p style="color: red;">【テキスト】『きほんを学ぶ世界遺産100&lt;第5版&gt; 世界遺産検定3級公式テキスト』                  発売元:株式会社マイナビ出版 著作:世界遺産検定事務局 2023年 1,800円+税                  『世界遺産検定公式過去問題集3・4級&lt;2025年版&gt;』                  発売元:株式会社マイナビ出版 著作:世界遺産検定事務局 2025年 各1,500円+税</p>	4/9 ~ 7/16 毎週木曜日・2限 10:40~12:10
5	前期	英語学特論 I (統語論・文法論) 稲垣 大輔 (イナガキ ダイスケ) 外国語学部 教授	<p>ことばは「心の鏡」と言われます。私たち人間は、ことばを使わずに、考えたり、コミュニケーションしたり、社会生活を送ることはできません。ことばは私たち人間を人間たらしめている種に固有の生物学的特徴です。では、その「ことばの知識」とはどのようなものなのでしょうか？そして、その知識を幼児はどのようにして獲得するのでしょうか？</p> <p>本講義では、「生成文法理論」と呼ばれる、「ことばの知識」を、自然科学と同様に、データの収集、一般化、仮説の検証・反証、理論化という科学的方法を用いて解明するアプローチについて理解することを目的とします。生成文法理論が1950年代に誕生して以来、半世紀の月日が経過しましたが、この理論が一貫して掲げている目標・問題意識を確認した上で、英語という個別言語の具体的分析を通して、英語の文法を記述し、理論化する方法を学びます。</p> <p style="color: red;">【テキスト】授業で配布される講義ノート</p>	4/7 ~ 7/21 毎週火曜日・3限 13:00~14:30

## 2026(令和8)年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。  
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2026/2/20 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
6	前期	韓国の文学・文化 金 英周 (キム ヨンジュ) 外国語学部 准教授	東アジアの中でも昔から交流があり、歴史的にも深い関係を持つ韓国(人)について知っていく。前半では、説話を紹介して昔からの韓国民族の思想・感情・情緒を吟味し、後半では現代韓国の文化を紹介し、韓国文化全般について理解する。これは発展的な日韓関係、東アジア共同体構築に向けての広い視野を持つにもつながると考える。 韓国文化、韓国社会、韓国人についての総合的な知識を得て、理解を深めること。また、授業の後半には課題発表を予定しているので、韓国の様々な文化について発信できることを目標とする。  【テキスト】タイトル：現代韓国を知るための61章 第3版 著者：石破浩一・福島みのり(編著) 出版社：明石書店 発行：2024年2月19日第3版1刷発行 *この授業では教科書の前半を中心に使用する。 必ず、内容を最新の状態に更新した第3版を購入すること。	4/6 ~ 7/20(祝月) 第15回は祝日開講  毎週月曜日・4限  14:40~16:10
7	前期	中国の地誌 森 和 (モリ サシ) 外国語学部 准教授	この科目は、中国の世界遺産を個別に取り上げ、その地域の自然的・人文的特徴を学び、歴史や文化との関係などについて考えます。 (到達目標) 中国の世界遺産についての知識を深め、各地域の特徴や歴史・文化との関係を理解することを目標とします。 【テキスト】特にありません。毎回、レジュメを配布します。	4/9 ~ 7/16  毎週木曜日・4限  14:40~16:10
8	前期	中国の思想 森 和 (モリ サシ) 外国語学部 准教授	この科目は、近代以前の中国の思想について講義形式で学びます。中国だけでなく、東アジア全域に大きな影響を与えた儒教を始めとして、春秋戦国時代に活躍した「諸子百家」の思想をいくつか取り上げ、原典史料を読み解きながら、基礎的な知識や特徴を理解し、歴史的な背景と影響などを考えます。さらに、これらの古代思想の現代社会における意味合いについて考えることで、異文化理解を深めてゆきます。  【テキスト】特にありません。毎回、テーマに応じて適宜参考文献を紹介いたします。	4/8 ~ 7/22 第4回(4/29)は祝日開講 毎週水曜日・3限  13:00~14:30
9	前期	表象文化論Ⅱ (社会における文学表象) 田中 洋 (タナカヒロシ) 外国語学部 准教授	表象文化論Ⅱでは、小説や映画を始めとする多種多様なメディア・コンテンツに隠された記号やメッセージを分析し、読み取る力を養成することを目的とする。そのために作品の背後にある社会・歴史・文化的な側面だけではなく、様々な理論も併せて学んでもらう。具体的には、精神分析、ジェンダー・セクシュアリティ、マルクス主義、ポストコロニアリズム、新歴史主義、アダプテーションなどである。これらの学びを通じて、履修者には受動的なコンテンツ消費者からの脱却を目指してもらいたい。  【テキスト】プリントを配布します	4/10 ~ 7/17  毎週金曜日・4限  14:40~16:10
10	前期	財政論 知原 信良 (チハラ ノブヨシ) 総合政策学部 非常勤講師	財政について、入門レベルから始めて全体像をひととおり理解するための講義である。政府の役割、予算、租税、社会保障等の仕組みや諸課題について政治経済学的観点から学んでいく。 経済コースにおける応用科目であるが、現代社会で財政が果たす重要な役割に鑑み、基礎的な知識を固めたうえで、現在および将来の財政のあるべき姿を考え、自分の言葉でそれを発信することが出来るようになることを目指す。  【テキスト】井堀利宏『財政学 第4版』新世社2013年 ISBN:978-4883841929	4/9 ~ 7/16  毎週木曜日・3限  13:00~14:30
11	前期	租税法Ⅰ 若林 俊之 (ワカバヤシトシユキ) 総合政策学部 非常勤講師	租税法について、その全体を俯瞰するとともに、各税法の主旨、法の成り立ち、その取扱いなどについて、主に所得税法及び消費税法を題材として考えを深めていく。 租税は、日本国憲法30条に納税の義務が掲げられ、さらに84条において、その執行を法律によるものとする租税法律主義が定められている。日本の民主主義社会の根幹となるのが租税であるため、その理解を通じて、社会に求められる公平性を考察する。  【テキスト】指定しない。毎回事前にレジュメを用意するため、各自ダウンロードされたい。	4/10 ~ 7/17  毎週金曜日・1限  9:00~10:30

## 2026(令和8)年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。  
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2026/2/20 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
12	前期	外交政策論A 島村 直幸 (シマムラ ナオユキ) 総合政策学部 准教授	<p>講義では、国際関係と外交について、主要なテーマの一つずつ取り上げ、歴史と現実に対する理解を深める。</p> <p>外交とは、近代以降の主権国家の間で展開されてきた対外政策の術であり、世界政府が存在しない「無政府状態(アナーキー)」の国際社会では、第一義的には「国家の生存」のために「秩序の安定」を目的としてきた。しかし、現代の外交では、経済や開発、人権、環境といった問題領域や争点の重要性が、たしかに相対的により高まってきた。なぜなら、二度の世界大戦を経験し、核兵器が出現した現代の国際社会では、少なくとも大国間での戦争が勃発する蓋然性が著しく低下し、過去と比較すれば、安全保障や軍事力の重要性が相対的により低下してきたからである。</p> <p>また同時に、国際的に相互依存が深化したことにより、戦争はますます起こりにくくなりつつある。国際社会で民主化や制度化がさらに進展していけば、戦争がやはり起こりにくくなる(はずである)という指摘もある。さらに、国際連合(国連)などの国際機関、多国籍企業、NGOや市民社会など、主権国家以外の行為主体(アクター)の重要性も、現代の外交ではたしかに無視できない。</p> <p>しかし、国際システムが基本的に主権国家からまず構成され、システム原理が「無政府状態」であるという現実が根本から変化したわけではない。たとえば、国連はあくまでも主権国家の集まりであり、主権国家よりもより上位の権威、すなわち世界政府ではない。また、ヨーロッパ統合は、たしかに主権国家を乗り越える歴史的な実験を積み重ねてきたが、深刻な財政危機や難民問題、イギリスの欧州連合(EU)からの離脱、そしてロシア・ウクライナ戦争に直面し、今まさに歴史的な岐路に立たされている。</p> <p>【テキスト】島村直幸『国際政治の〈変化〉を見る眼—理論・歴史・現状』晃洋書房、2019年 ISBN:978-4771032156</p>	4/6 ~ 7/20(祝: 月) 第15回は祝日開講 毎週月曜日・1限 9:00~10:30
13	前期	アメリカ政治外交論 島村 直幸 (シマムラ ナオユキ) 総合政策学部 准教授	<p>21世紀はじめの国際秩序は、中国の台頭やロシア・ウクライナ戦争の勃発を受け、アメリカ中心の単極構造が相対化されてきた。近代以降の主権国家システムの変容を予測する議論までである。アメリカ政治外交の現状をいかに分析し、将来をいかに展望できるのか。</p> <p>講義では、まずアメリカ外交の伝統を取り上げ、次いで第二次世界大戦後の冷戦期のアメリカ外交史を考察する。イギリスの歴史家E.H.カーが指摘したように、複雑な現在の問題をより深く理解するためには、過去の歴史を学び、過去と現在とを”対話”させる必要がある。アメリカ外交の歴史を学ぶ場合も、例外ではない。</p> <p>また大統領とアメリカ議会、二大政党制など、アメリカ政治の仕組みについて議論したい。アメリカ政治は、アメリカ合衆国憲法によって、「権力の分立」と「抑制と均衡」の原則が厳格に適応されている。民主主義国家のアメリカ外交は、内政の動きと切り離して議論することができない。なぜなら、大統領とアメリカ議会の間では、内政だけでなく、外交でも「抑制と均衡」が機能することが期待されているからである。</p> <p>【テキスト】島村直幸『〈抑制と均衡〉のアメリカ政治外交—歴史・構造・プロセス』ミネルヴァ書房、2018年 ISBN 9784623082964</p>	4/6 ~ 7/20(祝: 月) 第15回は祝日開講 毎週月曜日・3限 13:00~14:30
14	前期	時事問題研究B<春> 島村 直幸 (シマムラ ナオユキ) 総合政策学部 准教授	<p>国際政治(経済)の時事問題について、レジュメや新聞記事などを題材にして理解を深めていく。必要に応じて、国内政治(経済)にも目を向ける。</p> <p>2024年は、アメリカ大統領選挙をはじめとして国際的に選挙の年であった。アメリカでは大統領選挙の結果、ドナルド・トランプが大統領に復権することとなり、2025年1月に第二次トランプ政権が発足した。国際社会は再び、「アメリカ第一主義」で「アメリカを再び偉大にする」ことを掲げるトランプ大統領と対峙することとなった。大統領選挙でトランプは、たとえば、「中国からの輸入に60%の関税を課し、それ以外の輸入にも一律で10-20%の関税を課す」と公約し、「ウクライナの戦争は、24時間以内に終わらせる」とも言っていた。そのため、国際社会は、世界関税戦争の勃発を危惧し、ウクライナに関しては、ロシアに有利な条件での「取り引き(ディール)」で停戦合意に向かうのではないかと懸念することとなった。</p> <p>第二次トランプ政権は、ロシア・ウクライナ戦争とガザ戦争という二つの戦争と「インド太平洋」地域での中国の脅威に対して、三正面の政策対応を求められる。しかも、国内政治では、保守とリベラルのイデオロギーの分極化や貧富の格差の拡大による深刻な「分断」に直面することになる。</p> <p>第二次トランプ政権の成立によって、既存の国際秩序が「瓦解」に向かう、という議論がある。またBRICSなど新興国の台頭を受け、地政学が復活した、という議論もある。21世紀の国際秩序は、いかなる方向へ向かうのであろうか。</p> <p>【テキスト】島村直幸『〈逆〉から読み解く国際問題—トランプから中国問題、第四次産業革命まで』—藝社、2025年 ISBN:9784863592957</p>	4/6 ~ 7/20(祝: 月) 第15回は祝日開講 毎週月曜日・4限 14:40~16:10
15	前期	中東・アフリカの政治・経済 知原 信良 (チハラ ノブヨシ) 総合政策学部 非常勤講師	<p>中東・アフリカの政治・経済について学ぶ。</p> <p>この地域は、地理的に遠く、宗教が絡むこともあって、敬遠しがちであるが、関心が高く重要視されている。</p> <p>多様な資源やエネルギーの供給源として重要であり、歴史や文化に深いつながりがあることはあまり知られていない。歴史、宗教、文化にも関連付けながら、中東・アフリカ地域の経済的、国際関係上の課題について論じる。</p> <p>なお授業では短い動画を多数視聴しながら、興味を持って多面的に理解できるようにする。</p> <p>【テキスト】テキストは指定しない。毎回講義資料は事前に提供する。</p>	4/9 ~ 7/16 毎週木曜日・2限 10:40~12:10

## 2026(令和8)年度 杏林大学〈前期〉市民聴講生講座 募集要項

※ 曜日・時限・授業内容・授業形態が変更の可能性もあります。  
 ※ 祝日開講する講座もあります。 予めご了承下さい。

2026/2/20 改訂

No.	時期	講座名／講師名	講座内容	期間／曜日／時間
16	前期	環境保全論 齊藤 崇 (サイノウ タカシ) 総合政策学部 教授	<p>現在の環境問題は、非常に複雑化・多様化している。そうしたさまざまな問題について、どのような特徴があるか、どのような取り組みが必要かを整理して理解することは、解決策を考えていくうえで非常に重要である。とくに「社会の仕組み」の観点から、環境問題の原因や解決策について考えていくことが求められている。</p> <p>この授業は、大きく2つの内容で構成されている。まず総論として、現在の環境問題の特徴を整理するとともに、環境に関する国際的な取り組みの全体像について取り上げる。その後、各論として具体的な環境問題について、現状や対策等について考えていく。ここでは大気環境の保全、水や土壌の保全、廃棄物などの都市型環境問題について取り上げる。</p> <p>【テキスト】自作の冊子型テキストを配布し、それに沿って授業をおこなう。このほかに新聞記事等、追加の資料を配布する予定である。</p>	4/9 ~ 7/16 毎週木曜日・3限 13:00~14:30
17	前期	社会福祉政策論 岡村 裕 (オカムラ ヒロシ) 総合政策学部 教授	<p>社会福祉政策を社会における福祉資源の分配の基本方針として解説する。一般的に福祉資源は、家族による贈与、市場における交換によって入手されるが、それが困難な人々に対しては社会サービスとして再分配されることになる。その分配形態は、特別な人々にのみ行う選別的な分配や、すべての人々を対象とした普遍的な分配など様々である。講義を通じて、人間が福祉を達成するために必要な福祉資源の開発および分配形態の種類やその特徴について理解を深める。</p> <p>【テキスト】使用しない。(毎回資料を配布し、問題を提示しながら講義する。)</p>	4/10 ~ 7/17 毎週金曜日・1限 9:00~10:30
18	前期	医療経済学 北島 勉 (キタシマ ツトム) 総合政策学部 教授	<p>日本の人口構造や疾病構造の変化や、保健医療システムの変遷、現在の仕組みと課題などについて学習する。また、他国の保健医療制度についても触れ、日本の保健医療制度の特徴についても理解を深める。</p> <p>少子高齢化が著しい日本における健康問題の現状とその対策、特に医療保険制度の沿革、仕組み、課題について理解することを目標とする。</p> <p>【テキスト】特に使用しない</p>	4/7 ~ 7/21 毎週火曜日・1限 9:00~10:30
19	前期	福祉心理学 代表教員:石川 智 (イシカワ サトル) 担当教員:古川 綾子 渡邊 郁子 保健学部	<p>福祉領域は、保健・医療、教育に続き心理職が働く領域となっている。本講義では福祉現場における心理社会的課題および心理的支援について学んでいく。各現場の支援対象である人々の持つニーズと社会的背景について基本的なところから考える。また、福祉領域では対象者への支援が生活全般に及ぶ場合もあることは特徴的であり、その支援の基盤となる我が国の社会福祉制度の概要についても学習する。</p> <p>【テキスト】指定しない。適宜資料を配布する。</p>	4/9 ~ 7/16 毎週木曜日・5限 16:20~17:50



←各授業のシラバスはこちらから確認することができます。

【申込受付期間】 前期期間 2026年3月 3日(火)～3月19日(木)  
後期期間 2026年7月15日(水)～8月15日(土)

【対 象】 原則、18歳以上の方で、大学レベルの講義に関して学習意欲のある方。

【募 集 人 員】 各講座 5名まで（申込多数の場合は、締切前に申込をお断りすることもあります）

【受 講 料】 1科目 11,000円

- ※ 三鷹市在住の18歳以上の市民(学生を除く)の場合、年間1科目を限度に1,500円を助成します。  
助成を希望される方は証明書類(運転免許証・健康保険証等)を三鷹ネットワーク大学 申込窓口にて提示ください。
- ※ 教材費がある場合は、実費負担となります。

【申込・支払方法】三鷹ネットワーク大学の窓口で現金にて支払(受講申込書あり)

#### ■ 注意事項等

- ◇ 講義は正規学生と共に受けていただきます。(授業運営や内容は正規学生に向けた構成です)
- ◇ 学内のルールを守られない方や正規学生及び他の受講生、教職員への迷惑行為をされた方は期間中でも受講をお断りします。(受講料の返還はありません)
- ◇ 欠席された場合、原則として講義のレジュメ等の取り置きはいたしませんのでご了承下さい。
- ◇ 一旦申込まれた講座の変更は原則としてできません。(受講料の返還はありません)
- ◇ 公共交通機関をご利用下さい。
- ◇ 講義は原則として対面形式で行われますが、変更となる可能性もあります。
- ◇ 休講情報等、大学からの連絡は原則e-mailで行いますので

PC・タブレット・スマートフォンいずれかの機器をご用意いただき、e-mailの送受信ができるよう予めご準備下さい。

※ 機器をお持ちでない方は別途ご案内させていただきます。詳細はお問合せ下さい。

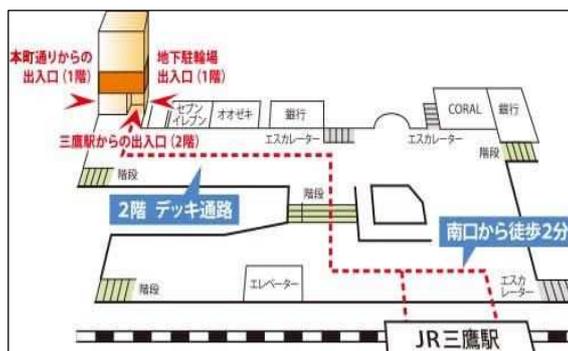
#### 市民聴講生講座に関する問い合わせ先

杏林大学 (井の頭キャンパス) 地域交流課  
〒181-8612  
東京都三鷹市下連雀5-4-1  
TEL : 0422-47-8000 (代表)  
窓口取扱時間  
平日 : 9 : 00～17 : 00  
(土日・祝祭日は対応しておりません)



#### 申込・支払

特定非営利活動法人  
三鷹ネットワーク大学推進機構  
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-24-3  
三鷹駅前協同ビル 3階  
TEL : 0422-40-0313  
開館時間  
火曜日～土曜日 : 9 : 30～21 : 30  
(入館は21 : 00まで)  
日曜日 : 9 : 30～17 : 00



# 杏林大学 2026(令和8)年度 前期 開講日程

曜日 回	月	火	水	木	金
第1回	4月6日	4月7日	4月8日	4月9日	4月10日
第2回	4月13日	4月14日	4月15日	4月16日	4月17日
第3回	4月20日	4月21日	4月22日	4月23日	4月24日
第4回	4月27日	4月28日	4月29日 ※祝日開講	4月30日	5月1日
第5回	5月11日	5月12日	5月13日	5月7日	5月8日
第6回	5月18日	5月19日	5月20日	5月14日	5月15日
第7回	5月25日	5月26日	5月27日	5月21日	5月22日
第8回	6月1日	6月2日	6月3日	5月28日	5月29日
第9回	6月8日	6月9日	6月10日	6月4日	6月5日
第10回	6月15日	6月16日	6月17日	6月11日	6月12日
第11回	6月22日	6月23日	6月24日	6月18日	6月19日
第12回	6月29日	6月30日	7月1日	6月25日	6月26日
第13回	7月6日	7月7日	7月8日	7月2日	7月3日
第14回	7月13日	7月14日	7月15日	7月9日	7月10日
第15回	7月20日 ※祝日開講	7月21日	7月22日	7月16日	7月17日
補講日	5月23日(土)・6月20日(土)・7月18日(土)・7月23日(木)				
定期試験 期間	7月24日(金)～8月3日(月) ※科目により定期試験を実施します。 聴講生は受験は任意となり、成績評価はつきません。				